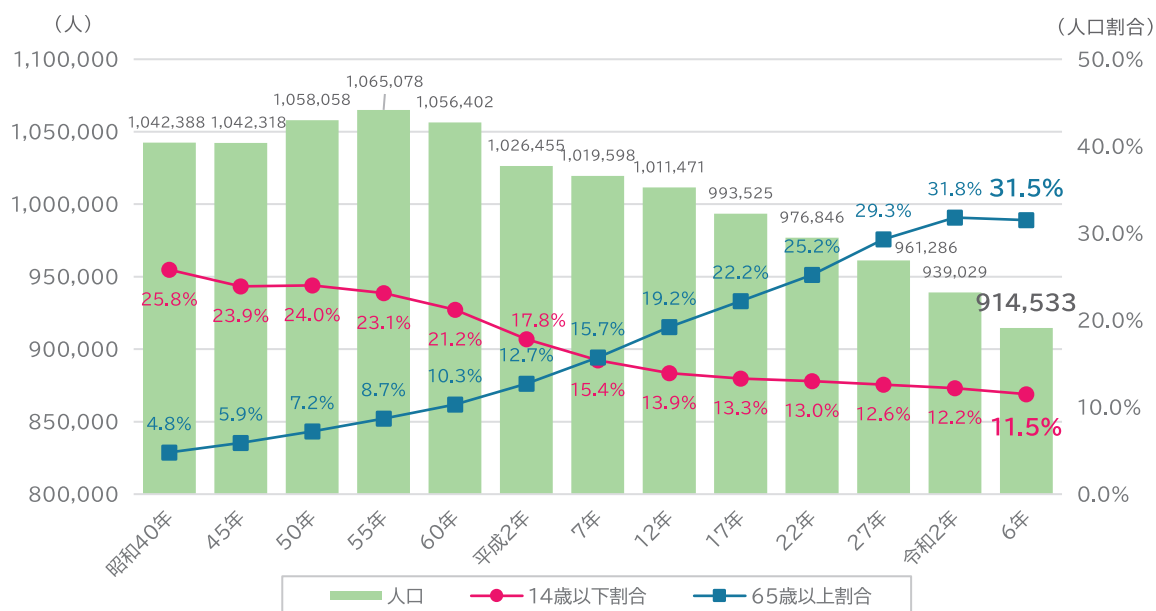


第2章

データから見る北九州市のこどもや子育ての状況

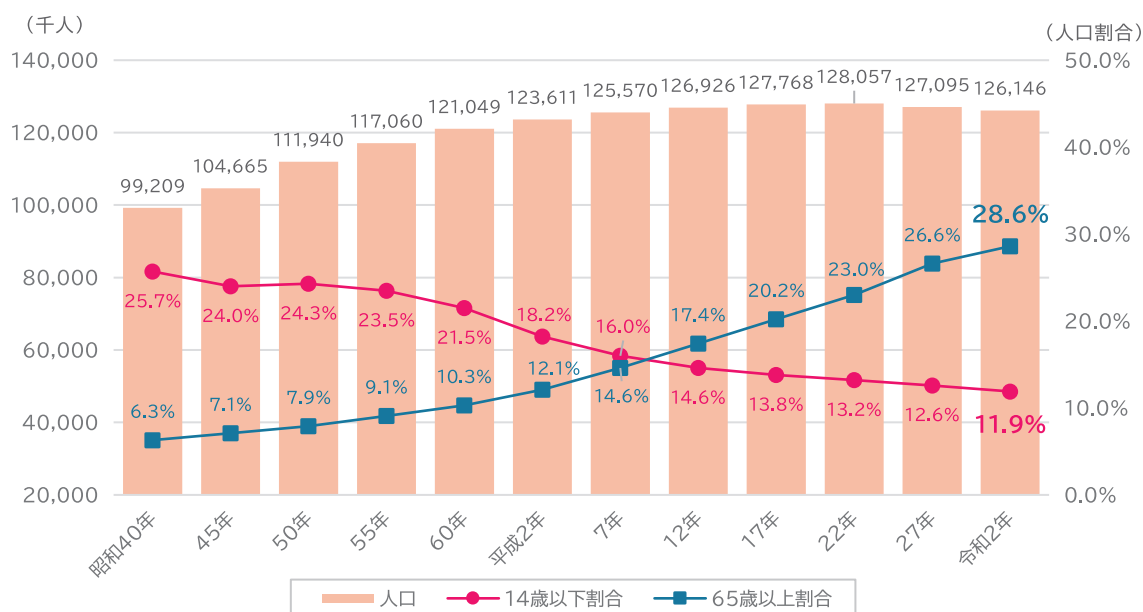
1 北九州市の人口と少子高齢化の推移

北九州市の人口(国勢調査人口)は、全国より早い昭和55年をピークに減少しています。高齢化は全国を先行しており、こども(14歳以下)の人口割合は減少しています。



【出典】 令和2年までは総務省「国勢調査」、令和6年は住民基本台帳(9月末現在)

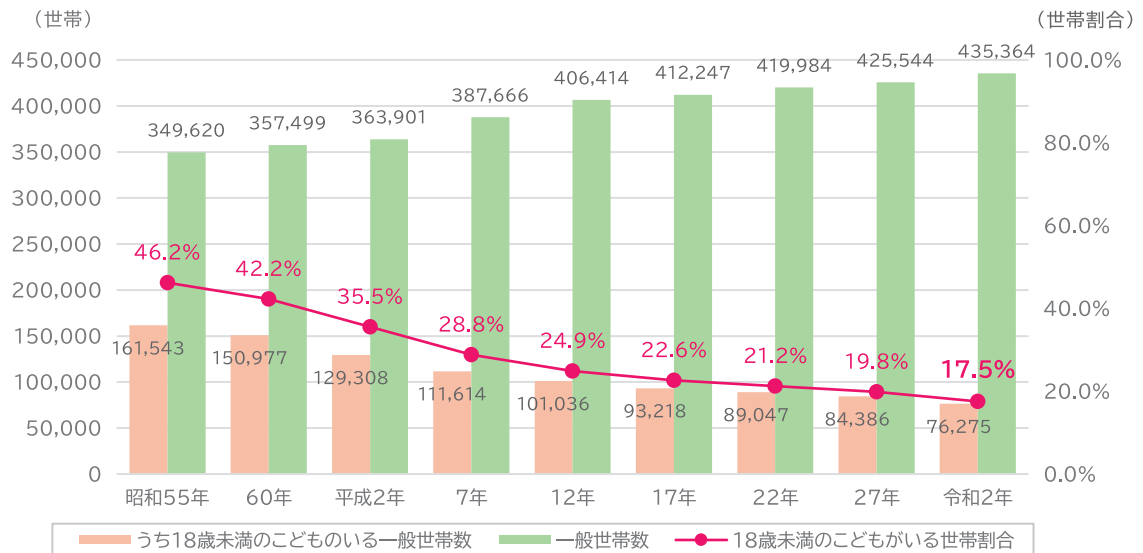
【参考】 全国の人口と少子高齢化の推移



【出典】 総務省「国勢調査」

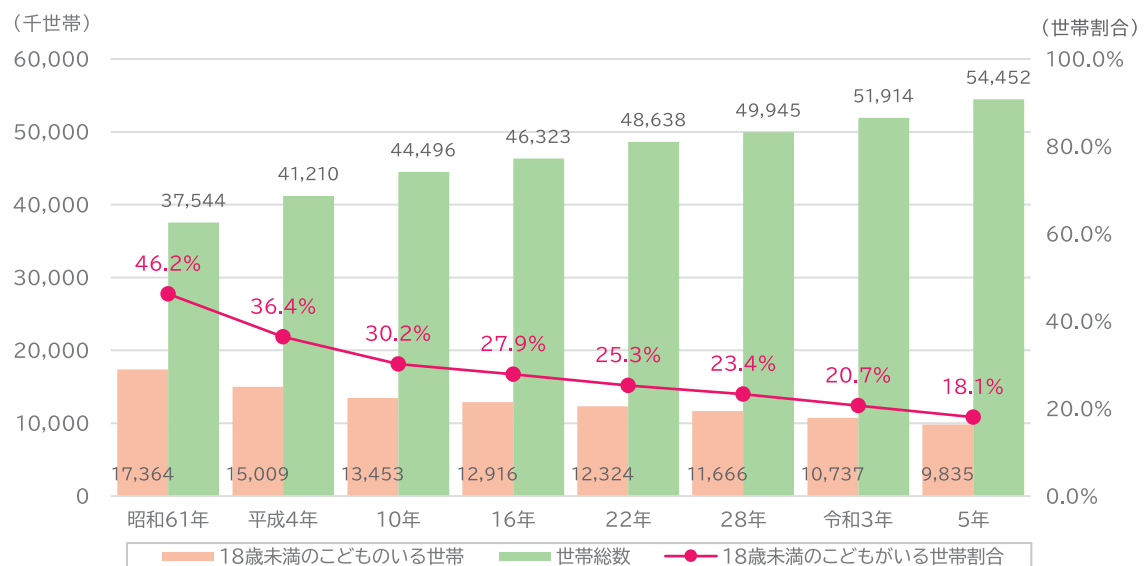
2 北九州市の18歳未満のこどものいる世帯の推移

北九州市も国と同様に、総世帯数は増加する一方で、18歳未満のこどものいる世帯は減少しています。こどものいる世帯は、社会の少数派に向かっています。



【出典】総務省「国勢調査」

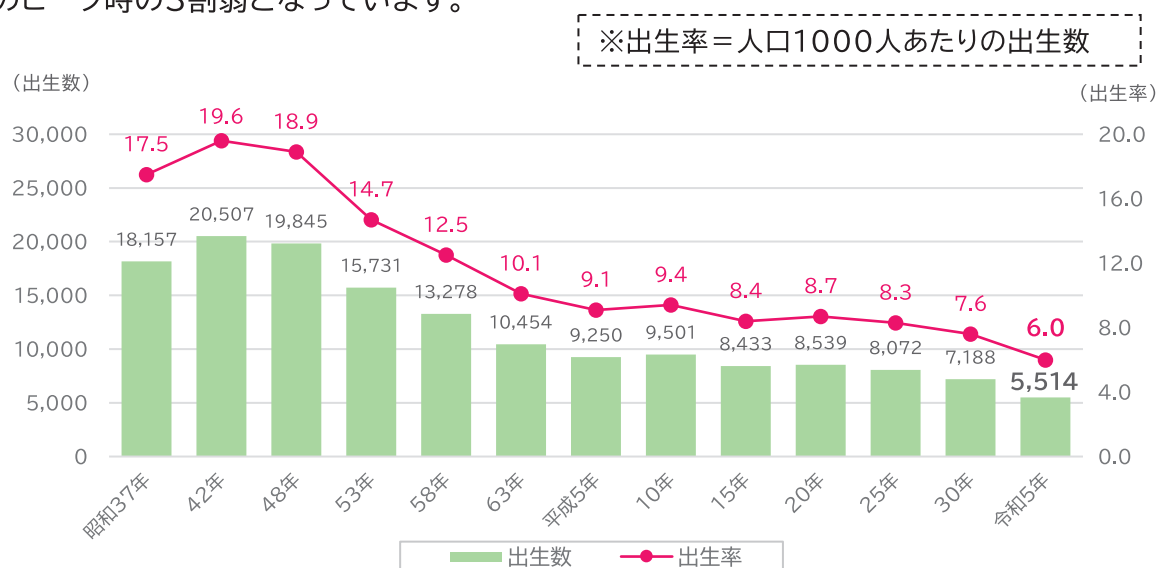
【参考】全国の18歳未満のこどものいる世帯の推移



【出典】厚生労働省「国民生活基礎調査」

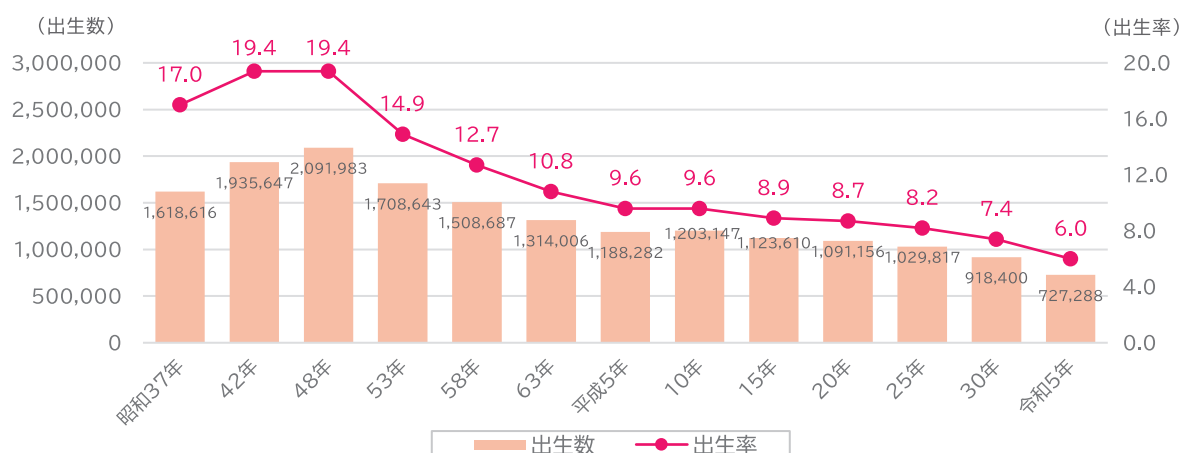
3 北九州市の出生数・出生率の推移

北九州市の出生数・出生率は、全国と同様に共に減少を続けており、現在は、昭和42年のピーク時の3割弱となっています。



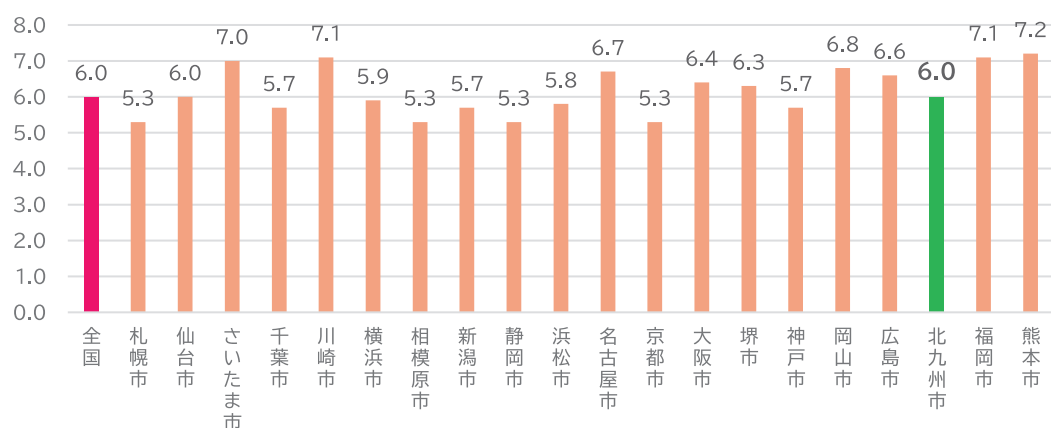
【出典】厚生労働省「人口動態統計」

【参考①】 全国の出生数・出生率の推移



【出典】厚生労働省「人口動態統計」

【参考②】 出生率の政令市比較(令和5年)

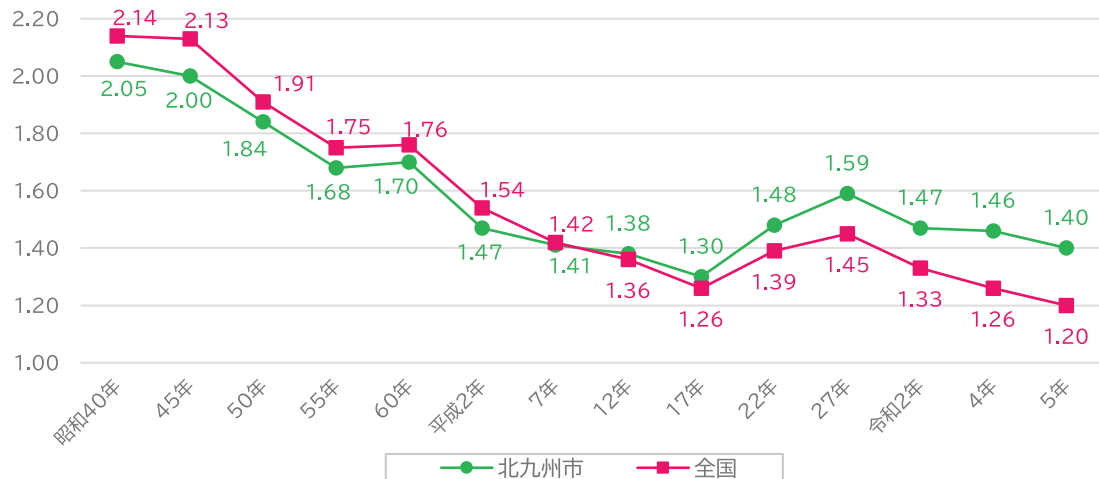


【出典】厚生労働省「人口動態統計」

4 北九州市の合計特殊出生率の推移

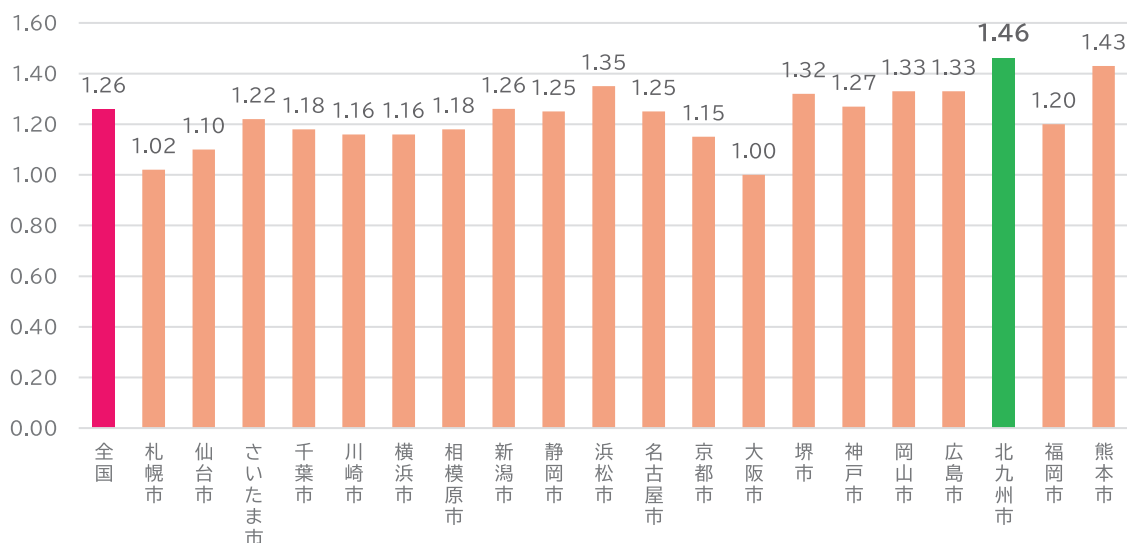
北九州市の合計特殊出生率は、近年減少傾向にあります。全国と比較すると高い値を示しており、政令市の中では最も高い状況です。

※合計特殊出生率＝一人の女性が生涯に生むことが見込まれるこどもの数を示す指標
年齢ごとに区分された女性の人口に対する出生数の比率を年齢別出生率といい、
合計特殊出生率は15～49歳の年齢別出生率の合計。



【出典】 全国は厚生労働省「人口動態総覧」、北九州市は平成12年、22年、27年、令和2年は厚生労働省公表値、それ以外は「人口動態統計」に基づき独自算出

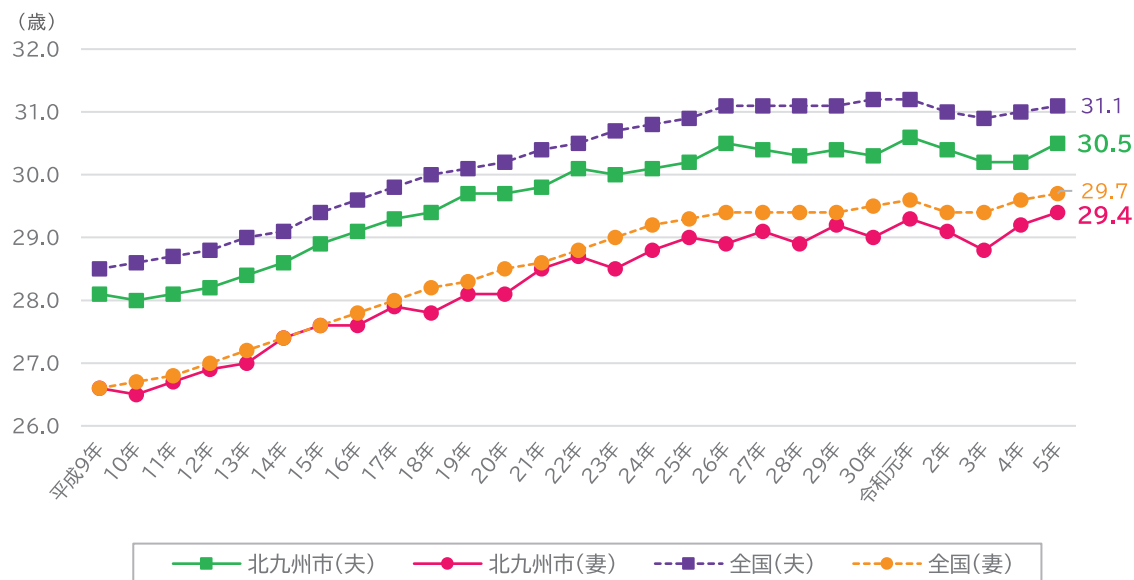
【参 考】 合計特殊出生率の政令市比較(令和4年)



【出典】 大都市比較統計年表

5 北九州市の平均初婚年齢の推移

北九州市の平均初婚年齢は、夫・妻ともに全国を下回る傾向が続いています。



【出典】 厚生労働省「人口動態統計」

6 北九州市の出生順位第1子の母の平均年齢の推移

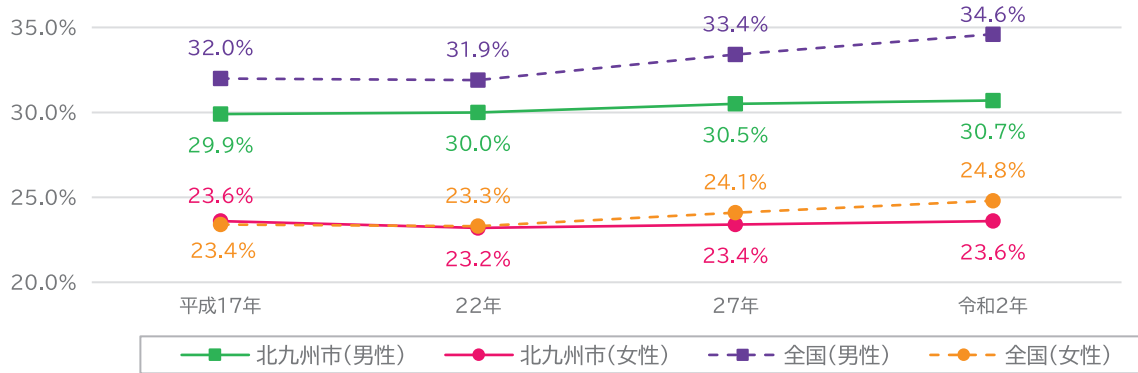
北九州市の出生順位第1子の母の平均年齢は、全国と比べ、1歳程度下回る傾向が続いています。



【出典】 厚生労働省「人口動態統計」

7 北九州市の未婚率の推移

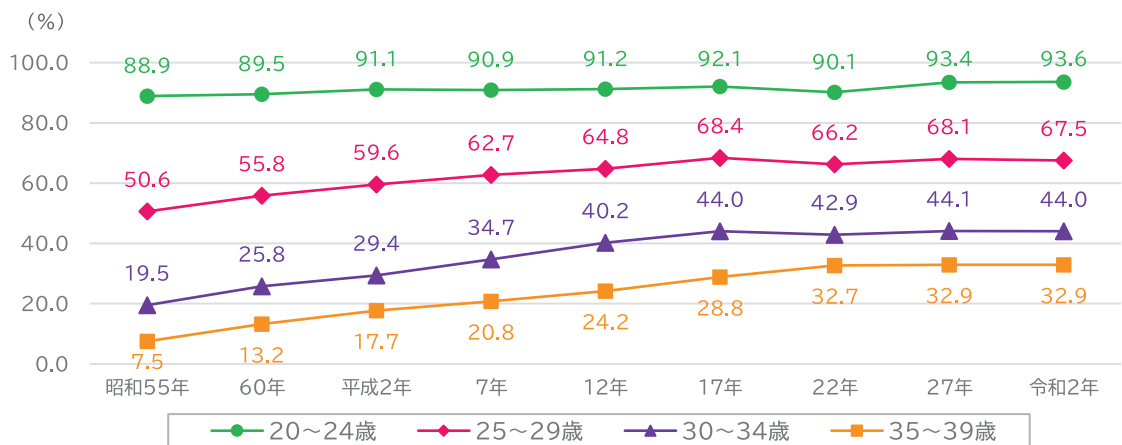
北九州市の未婚率(15歳以上の人口をもとに算定)は、近年、男性・女性ともに全国に比べ、低い割合にあります。



【出典】総務省「国勢調査」

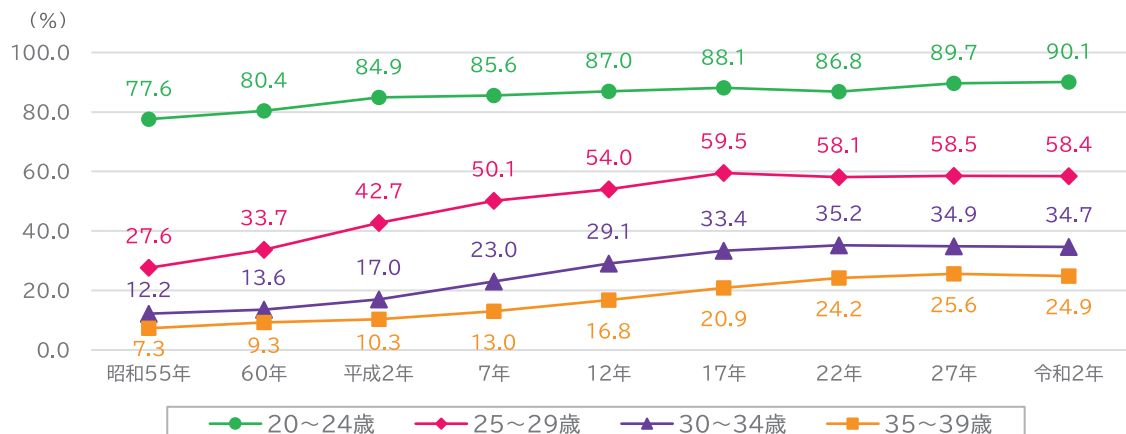
8 北九州市の年齢別未婚率の推移

(1) 男性 20歳～39歳



【出典】総務省「国勢調査」

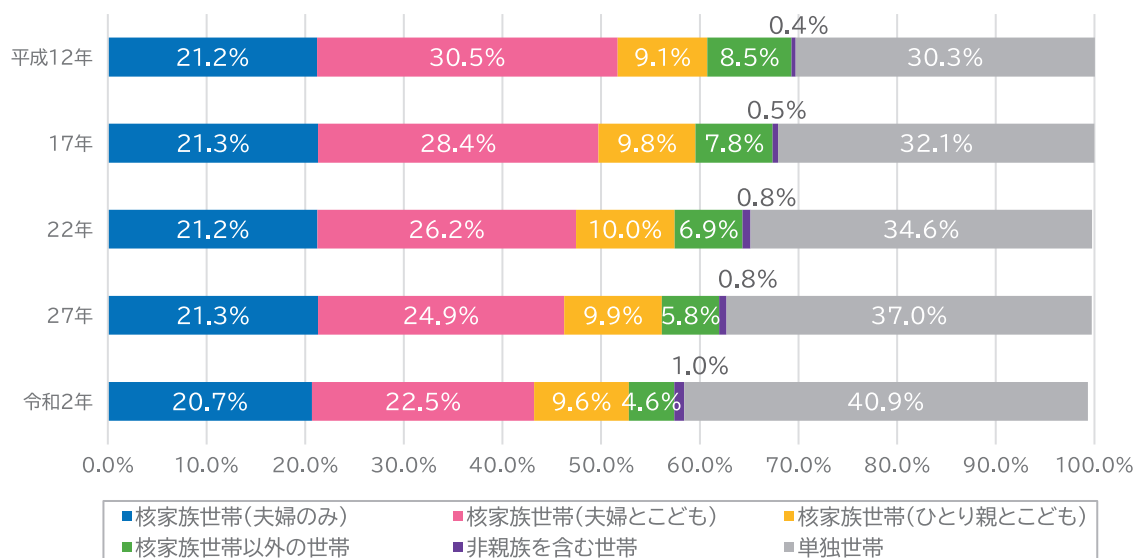
(2) 女性 20歳～39歳



【出典】総務省「国勢調査」

9 北九州市の一般世帯の家族類型別割合の推移

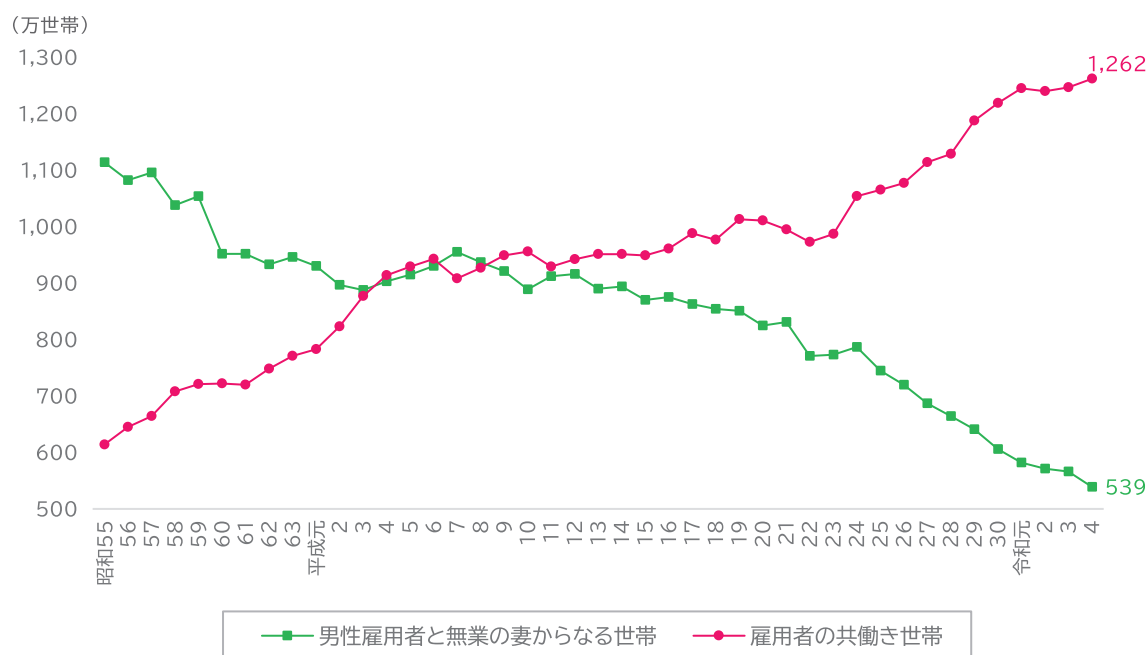
北九州市の一般世帯の家族類型別割合は、近年、単独世帯の割合が高くなっています。一方、核家族世帯のうち、夫婦と子ども(年齢関係なし)の世帯の割合は低くなっています。



【出典】 総務省「国勢調査」

10 雇用者の共働き世帯数と男性雇用者と無業の妻からなる世帯数の推移(全国)

全国的に雇用者の共働き世帯数は、平成初期を境に、男性雇用者と無業の妻からなる世帯数を上回り、増加傾向が続いています。

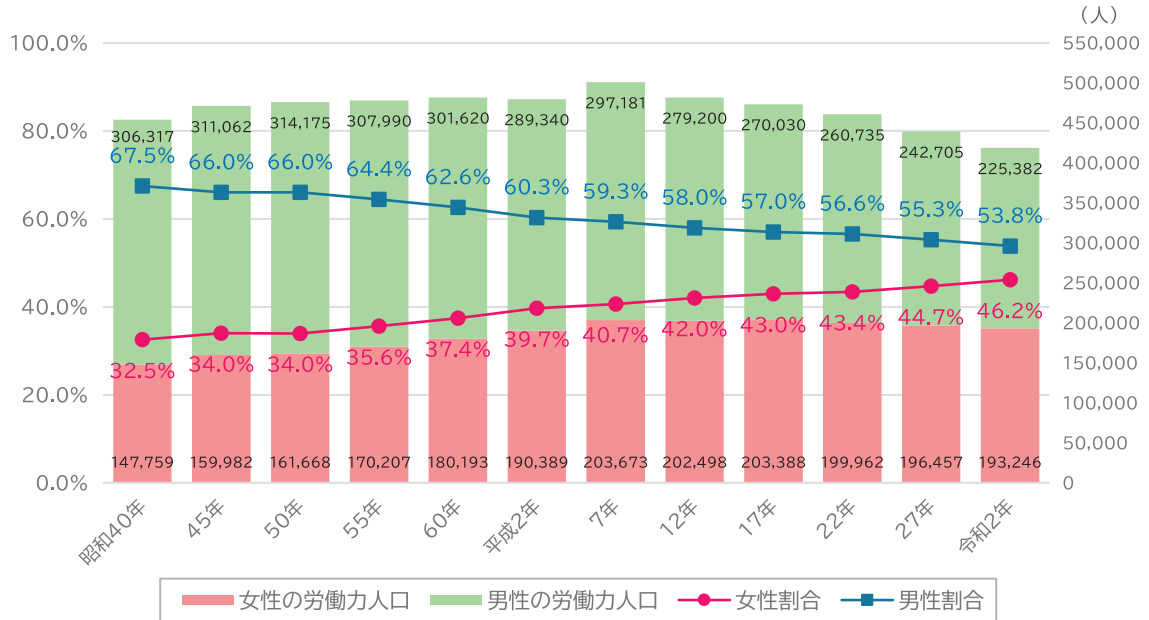


【出典】 令和5年度版厚生労働白書

1980～2001年は総務省統計局「労働力調査特別調査」、2002年以降は総務省統計局「労働力調査(詳細集計)(年平均)」

11 北九州市の労働力人口及び男女割合の推移

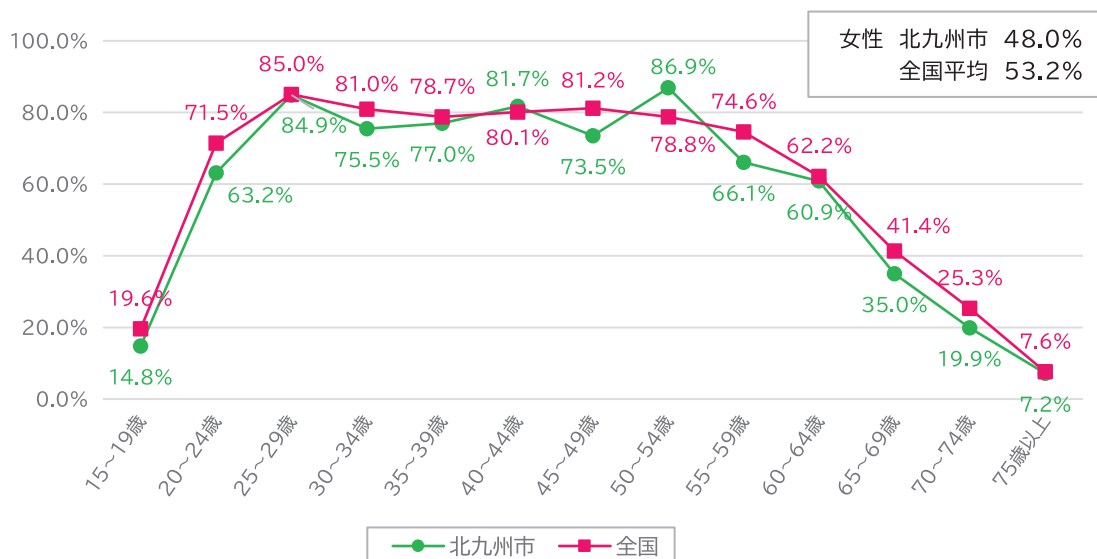
人口減少に伴い、北九州市の労働力人口は減少しています。男女別の割合では、女性の割合が上昇しており、男女の割合差はなくなりつつあります。



【出典】総務省「国勢調査」

12 北九州市の女性の就業率(年齢階層別有業率)【令和4年】

北九州市の女性の年齢階層別有業率は、25～29歳では全国とほぼ同様の値であるものの、結婚・出産・子育て期(乳幼児期)にあたる年代で全国よりも低くなっています。

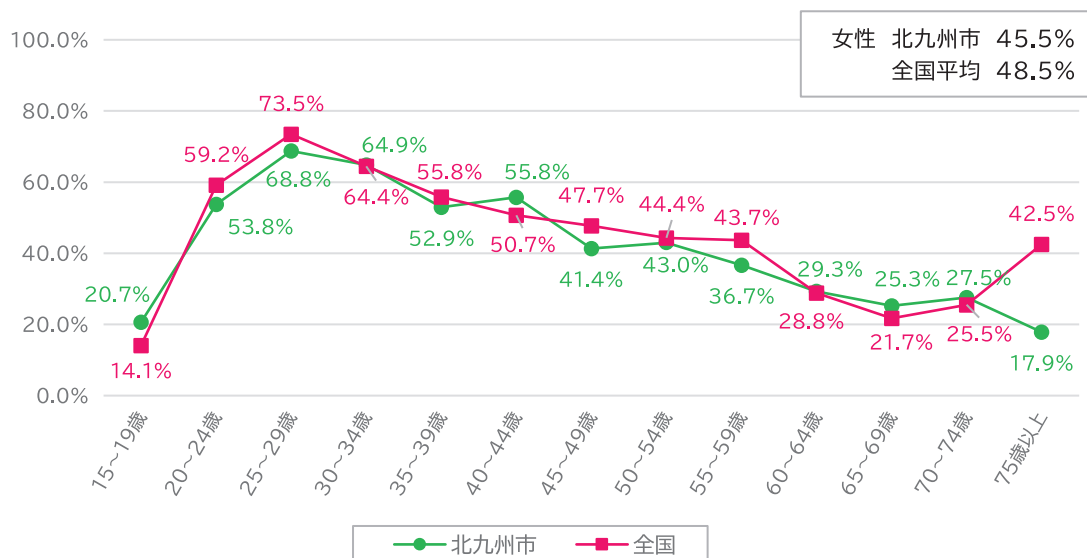


※有業率:15歳以上人口に占める有業者(収入を得ることを目的に仕事している、または仕事を持っているが現在休んでいる者)の割合

【出典】総務省「令和4年就業構造基本調査」

13 北九州市の女性の正規雇用比率(年齢階層別正規雇用比率)【令和4年】

北九州市の女性の年齢階層別正規雇用比率は、25～29歳をピークに低下しています。全国と比べ、25～29歳、35～39歳、45～49歳等が低くなっています。

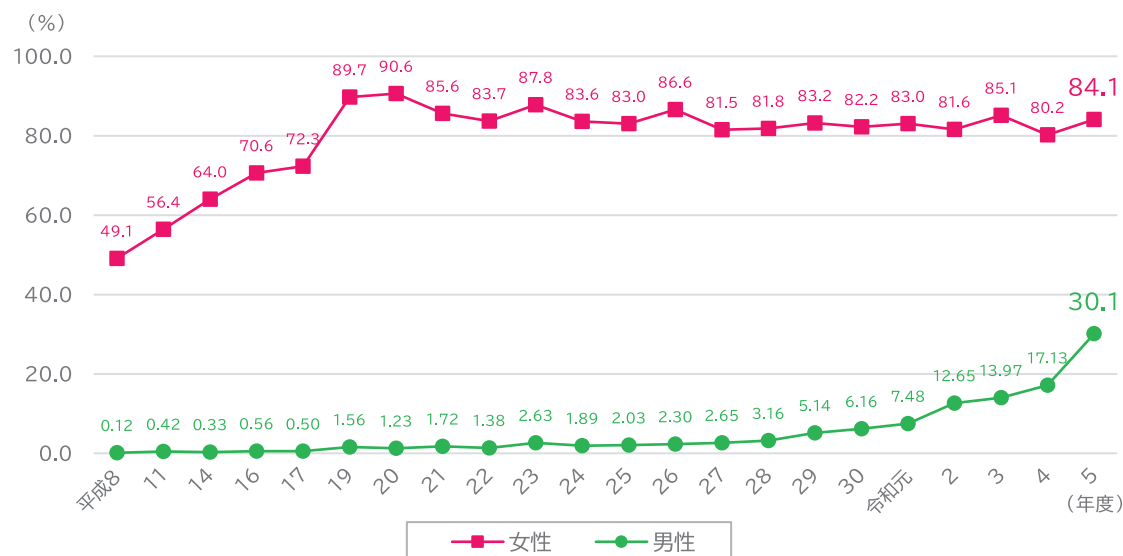


※正規雇用には会社などの役員を含む。

【出典】 総務省「令和4年就業構造基本調査」

14 育児休業取得率の推移(全国)

全国的に女性の育児休業取得率は、8割台を推移しています。男性の育児休業取得率は、近年、上昇傾向にあります。女性との間には未だ大きな差があります。

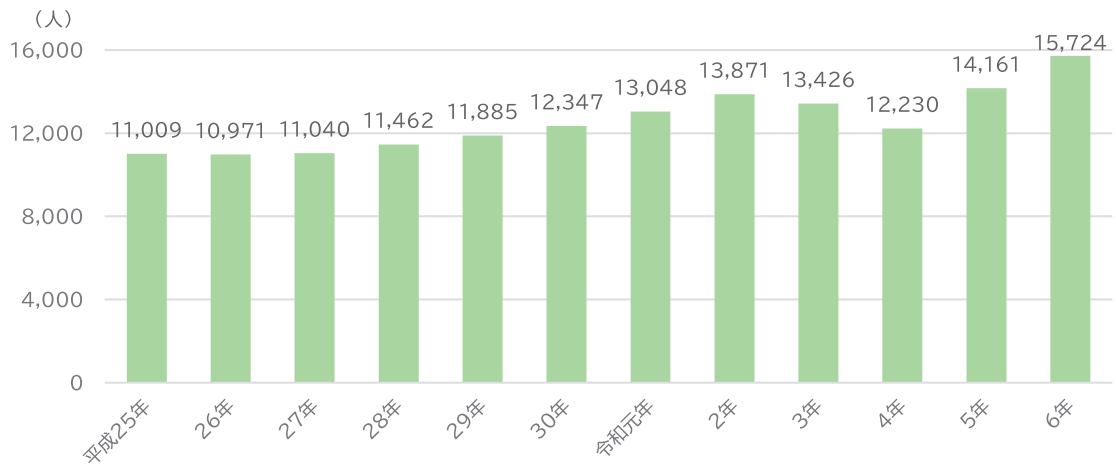


※平成23年度は岩手県、宮城県及び福島県を除く結果

【出典】 厚生労働省「令和5年度雇用均等基本調査」

15 北九州市の外国人市民(住民登録者)数の推移

北九州市の外国人市民は増加傾向にあります。10年前の約1.4倍となっています。

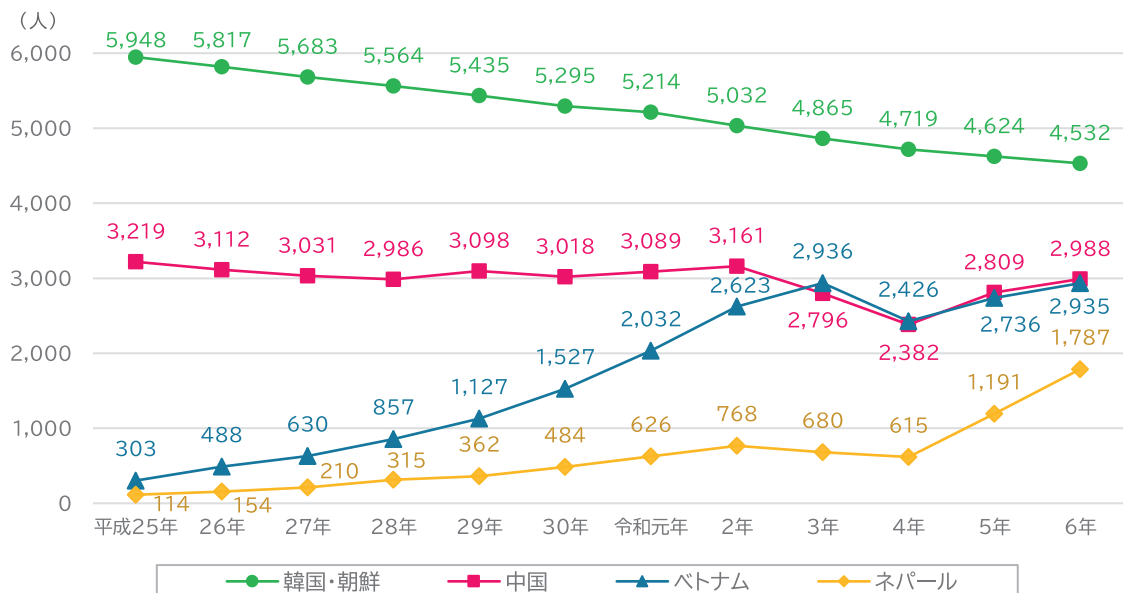


※平成24年7月の入国管理法改正以降、短期滞在の外国人は登録数に含まれていない。

【出典】北九州市住民基本台帳（各年3月末現在）

16 北九州市の国籍別外国人市民数(上位4か国)の推移

北九州市の外国人市民は、韓国・朝鮮が最も多く、次いで中国、ベトナム、ネパールの順となっています(令和6年3月現在)。



※令和6年現在 5位:インドネシア、6位:フィリピン

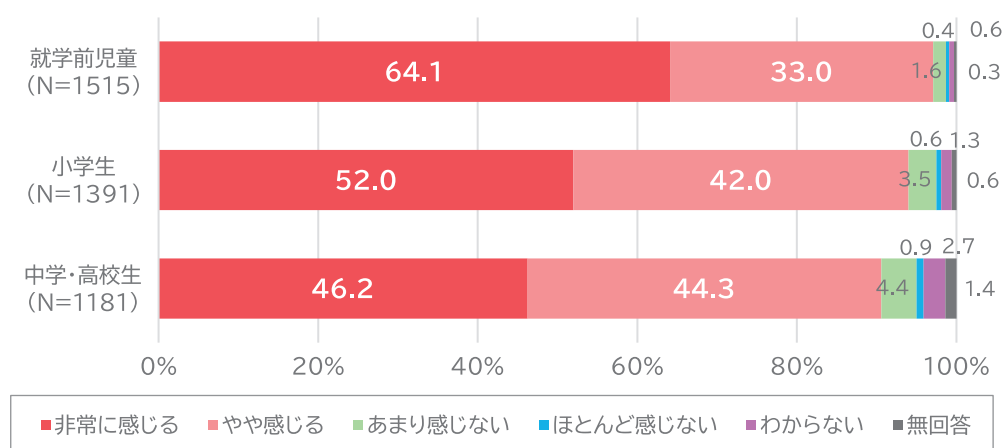
【出典】北九州市住民基本台帳（各年3月末現在）

◆令和5年度 北九州市子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査より◆

[保護者本人]

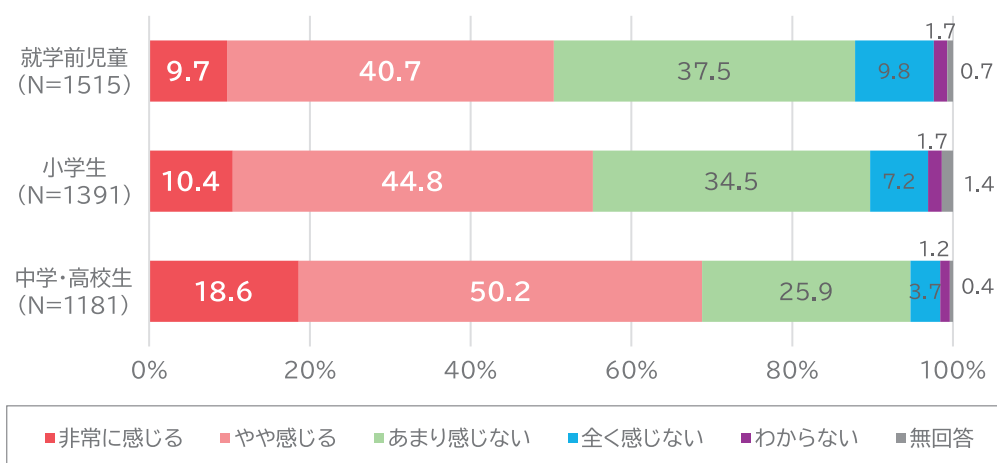
17 「子育てを楽しんでいる」保護者の割合

子育てを楽しんでいると「非常に感じる」「やや感じる」と回答した割合は、就学前児童の保護者は97.1%、小学生の保護者は94.0%、中高生の保護者は90.5%となっています。



18 「子育てやこどもの教育に悩みや不安を感じている」保護者の割合

子育てや教育に関して、悩みや不安などを「非常に感じる」「やや感じる」と回答した割合は、就学前児童の保護者は50.4%、小学生の保護者は55.2%、中高生の保護者は68.8%となっています。

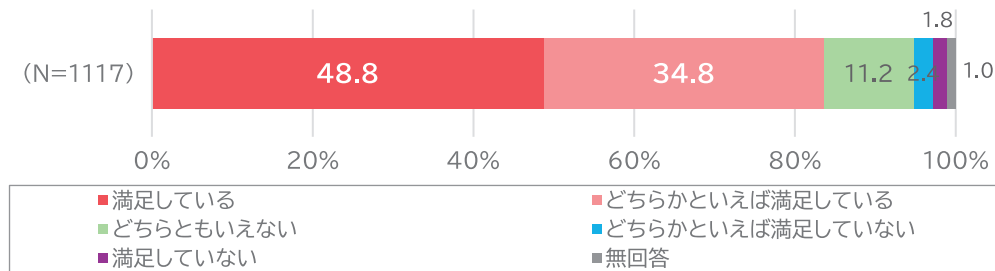


※就学前・小学生の保護者・・・子育てに関して、中高生の保護者・・・子育てやこどもの教育に関して

[中高生本人]

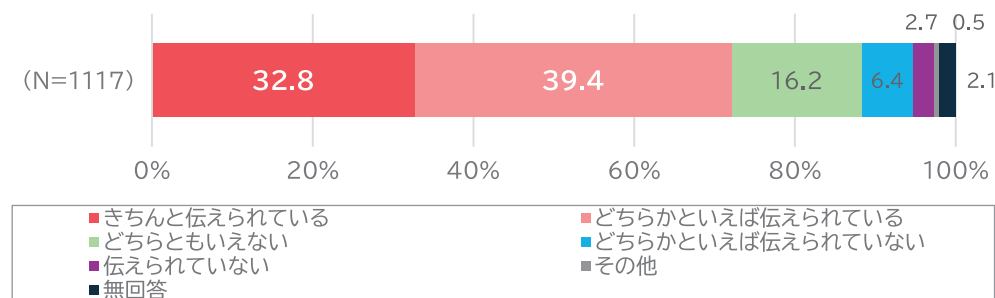
19 「現在の生活に満足している」中高生の割合

現在の生活に、「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した割合は、83.6%となっています。



20 「周りに自分の意見を伝えられていると思う」中高生の割合

周りへの意見表明について、「きちんと伝えられている」「どちらかといえば伝えられている」と回答した割合は、72.2%となっています。



21 「自分の意見を周りの大人が、きちんと聞いてくれていると感じる」中高生の割合

自分の意見に対する大人の聞く態度について、「きちんと聞いてくれる」「どちらかといえば聞いてくれる」と回答した割合は、84.6%となっています。

